



倉敷市立玉島西中学校

校長室だより

校訓：誠実に たくましく

第16号

令和7年1月8日（水）

あけましておめでとうございます。

1月7日(火)に3学期の始業式をリモートで行いました。

始業式の中で、今まで自分が心がけてきたことに加えて、①「今できることに全力で取り組むこと」、②「粘り強く取り組むこと」を意識してほしいというお話をしました。1年後の自分の姿を思い浮かべることで目標は立てやすくなります。日々、今自分ができていることに全力で取り組むこと、そして、困難なことや失敗にもくじけず、粘り強く取り組んでいくことで、点から線へと自分の努力の足跡を残してほしいという内容でした。

1年後、1年生は中堅学年として、2年生は最上級生として、3年生は自分の力でつかみとった新たな場所で、がんばっている自分の姿を思い浮かべながら、素晴らしいスタートを切って充実した3学期にしていきたいと思います。



地域の方が生きてくださっている
玄関のお花です。竹や松を取り入れて、お正月らしく華やかです。

倉敷こどもミーティングに参加！

12月25日(水)に倉敷市役所で「倉敷こどもミーティング」が開催され、玉島西中学校からは生徒会執行部3名が参加しました。「倉敷こどもミーティング」は自分たちの周りで起きている問題に気づき、考え、解決に向けて行動していくことを目指して、倉敷市内の小中学校代表が話し合う場です。今回は、「防災意識を高めるために自分たちにできることを考えよう」をテーマに、グループで活発に話し合い、全体でも考えを共有しました。



話し合ったことをホワイトボードにまとめて発表している様子。



タブレットに打ち込むことで、後から見返すことができます。

昨年、能登半島では、1月1日に起きた地震および9月の豪雨で、多くの方が亡くなり、行方不明者や仮設住宅で暮らしている方々が現在もいます。生徒会執行部でも、「能登×玉西 心を一つに～Hope For The Restoration～」プロジェクトと題して、全校に呼びかけて、義援金送付先の紹介や今後どのような取組ができるか、アンケートをお願いしているところです。

中学生災害ボランティアリーダー研修会に参加！

12月26日(木)に玉島市民交流センターで「中学生災害ボランティアリーダー研修会」が開催され、執行部6名が参加しました。この研修会は、災害時におけるボランティア活動への関心を深めてもらい、緊急時の適切な対応や救急救命の知識を備えた人材の育成を目的に2014年から始まりました。玉島西中学校以外に、玉島東中学校、玉島北中学校、黒崎中学校、船穂中学校の5校の代表が参加しました。救命措置の研修では、周囲の安全や反応の確認、119番通報やAEDの手配をした後、胸骨圧迫（心臓マッサージ）を一人ずつ体験しました。胸骨圧迫では、「強く、速く、絶え間なく」をポイントに、救急車が来るまでの3分間（早く到着した場合で、全国平均は8.9分）を想定して、1分間に100～120回のテンポで胸骨圧迫を続けました。相当に体力が必要で、交代しながら協力して命のバトンをつなぎました。



AEDを運搬する人、胸骨圧迫をする人と、役割を分担して行いました。